

第2編 大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

I 基本的考え方

1. 計画の位置づけ

大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、大和郡山市人口ビジョンを踏まえるとともに、国が定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」、並びに奈良県人口ビジョンを勘案し、本市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や重点的戦略、施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

本市では、平成28年度を初年度とする大和郡山市第4次総合計画の策定作業を進めていたため、それと一体的に検討することで、総合計画と一貫性の保たれた総合戦略を策定することになりました。

総合戦略は、大和郡山市第4次総合計画が掲げるまちづくりの将来像や戦略目標、リーディングプロジェクト※¹に基づき、計画期間内の地方創生に関する重点施策をまとめたものであり、PDCA サイクル※²も一元化することで、効率的で効果的な施策展開と執行を可能とするものです。

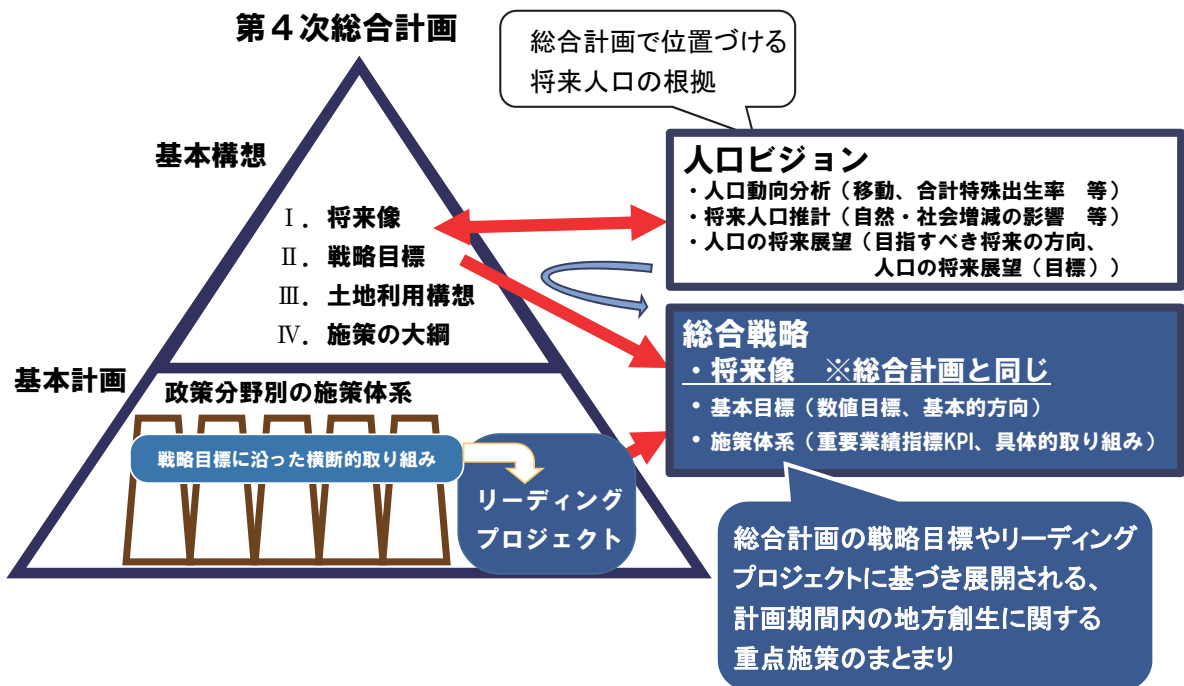


図1 総合戦略と人口ビジョン及び大和郡山市第4次総合計画との関係性

用語解説

※1 リーディングプロジェクト

総合計画の実現のための先導的な取り組みをまとめたもの

※2 PDCA サイクル

Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Act（改善）という、一連の取り組みを管理することでより良い成果を得ることを目指すこと

2. 計画期間

総合戦略の計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

3. 総合戦略の取り組み姿勢

大和郡山市の地方創生は、様々な人と人、地域の資源と資源とが結びつき、各々の相乗的な働きかけにより、新しい地域の価値を創造する取り組みを期待するものです。

本総合戦略には、主に行政の施策が示されていますが、それは地方創生のきっかけづくりの取り組みであり、様々な主体や資源がつながりの輪を描き、取り組むことができるよう、産官学金労言がともに手を携えて歩み始めることが重要となります。

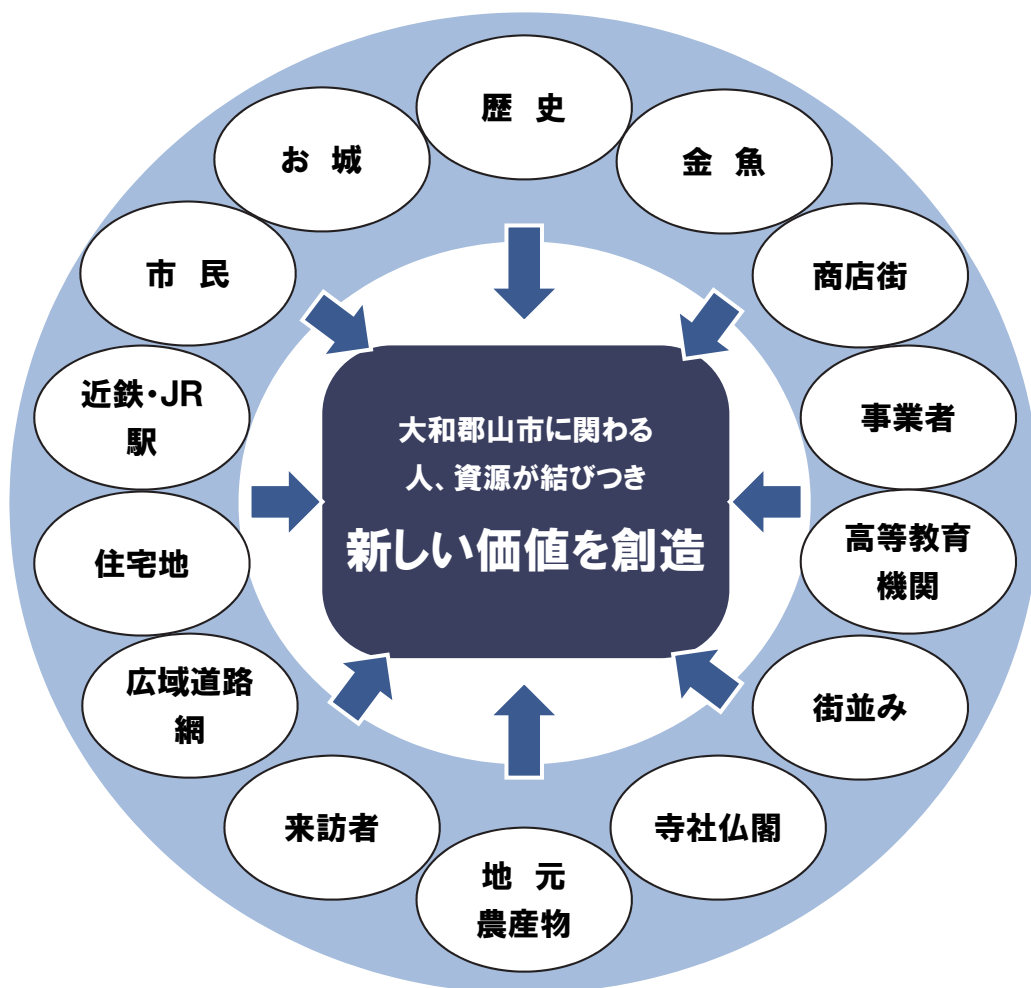


図2 総合戦略の取り組み姿勢イメージ

4. 推進体制

大和郡山市人口ビジョン及び総合戦略を策定するため、関係する各種団体の代表者により構成される「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」、及び庁内横断的なプロジェクトチームである「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議」を設置し、策定に係る検討を行いました。

総合戦略は、計画期間内において確実な成果を達成するため、実績と状況変化に応じて柔軟に事業内容を見直し、関係する全ての主体がそれぞれの役割に取り組む必要があります。

そこで、行政の執行部門と地域の事業関係主体とが、協働により PDCA サイクルを実践することが可能となるよう、各事業担当部署が実績と活動予定とを随時報告し、「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」からの意見を踏まえ、「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議」において方針を検討し、必要に応じて、事業の追加・変更等の計画変更を実施していくものとします。

また、「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」は、具体的な事業展開を通じ、地方創生に係る官民連携のプラットフォーム^{※3}として機能するよう活動を発展させていくことを考えます。

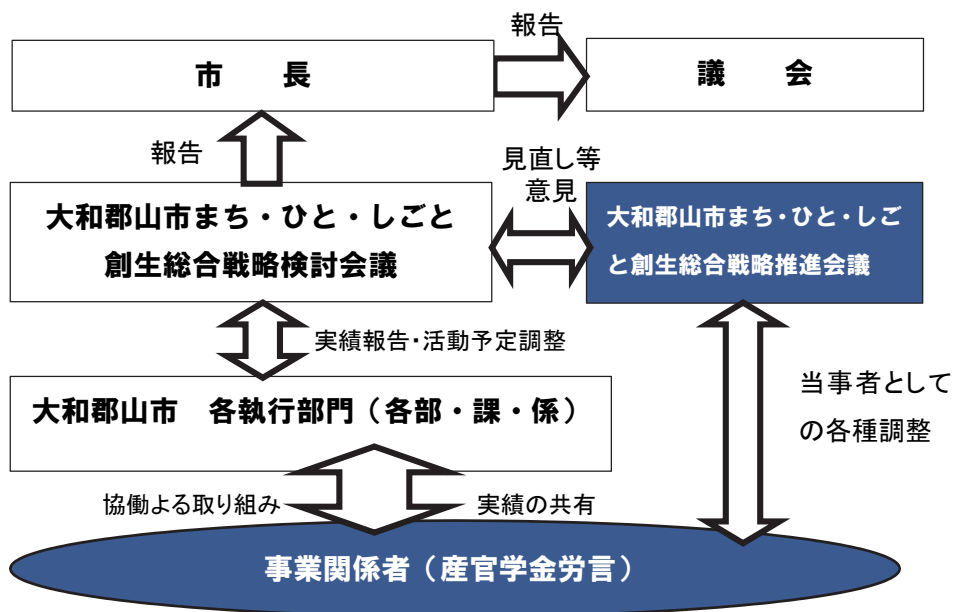


図3 PDCAを可能にする推進体制イメージ

用語解説

※3 プラットフォーム
様々な主体をつなぎ合わせる場や機能のこと